

新春は友人4人全員が着物を着て、観劇する事が恒例になっている浅草歌舞伎に行ってきました。

人気と実力の尾上松也さんを座長とする若手の華やかで清々しい舞台は今や大人気ですが、2000年初頭はお客が入らず大変だったそうです。そこで当時の若手市川亀治郎（現猿之助）さんが中心となり、夜の部の開演時間を繰り上げ、観劇後に浅草でご飯が食べられるようにしたり、役者が素顔で舞台から挨拶するという今では名物になっている「お年玉ご挨拶」のコーナーを作ったりと、創意工夫を重ね、ぐんぐんと人気が出て、現在に至っています。猿之助さんは役者としてだけではなくプロデューサーの実力も持ち合わせているのですね。

ところで浅草出演常連の坂東新悟さんのお父様、坂東彌十郎さんは何と私の小学校の同級生。彌十郎さんのお父様は往年の映画スター坂東好太郎さんです。まだ小学生だった私が彌十郎さんのお家に遊びに行くと、三味線が何気なく置かれている畳部屋に着流しで一杯やっているお父様、その横で着物姿のお母様が楚々してお酌している姿を見て感じた「我が家には全くない、何とも言えない色っぽい空気」は今でも忘れることができないくらい子供心に衝撃でした。

卒業後彼とは最近まで再会するチャンスはありませんでしたが、其の間彌十郎さんは先代の猿之助さんに可愛がられ、歌舞伎やオペラの演出で猿之助さんが長期にわたって海外に滞在する時も助手として同行し、海外の文化に深く触れるという素晴らしい経験を積みました。特にスイスに魅せ

恒例の新春浅草歌舞伎鑑賞

文 朝倉匠子 text by Shoko Asakura



友人との新春浅草歌舞伎鑑賞時の様子。

られ、フランス語を学び、山歩きを愛し、俳号も「酔寿IIすいす」という粋な雅号。歴代の在日スイス大使と交流し、スイス関連イベントでは引っぱりだこです。

また歌舞伎でも故中村勘三郎さんと小さい頃からとても仲がよく、その勘三郎さんの引きがあつて2017年の8月にお父様の追善興行を歌舞伎座で行い、主演を務めるといふ快挙を達成しました。その時は私も晴れ舞台に駆けつけました。そして息子さんは期待の若手。父譲りの180センチの長身ですが、すっきりとした姿で美しい女形として認知されつつあります。

グローバルだからこそ、オリジナルが大切。今の若手はそれを十分認識し、伝統を大切にしながら稽古に励む一方、新しいものに挑戦しています。来年は団十郎の襲名もあり、ますます楽しみな歌舞伎の世界です。



「35歳からのダイエット革命 (Discover21)」
定価1,404円(税込)
好評発売中



Profile

青山学院大学文学部英米文学科卒業
学生時代よりモデルとして活躍、その後テレビ司会、経済インタビューなどメディアで活躍し、渡米。カリフォルニア大学で「NPOマネジメント」及び「ジェロントロジー（加齢学）」を学び、帰国後「エイジングスペシャリスト」として活動を再開。アメリカでの学問を基に健康で幸せに年齢を積み重ねていく「アクティブエイジング」を提唱している。2002年スイスのオメガ社より社会に貢献する女性として緒方貞子氏、黒柳徹子氏、吉永小百合氏らと共に「オメガ賞」を受賞。現在NPO法人アンチエイジングネットワーク理事、母校青山学院大学ジェロントロジー研究所研究員、ヴォーカルグループ「The Fujiyama Sisters」リーダーと多岐の分野で活躍中。